

第3期滋賀県スポーツ推進計画に基づく施策の実施状況について

(令和6年度実績)

第3期滋賀県スポーツ推進計画の概要

平成27年12月に公布、施行した滋賀県スポーツ推進条例に基づき、令和5年度から令和9年度までの5年間の計画期間とする「第3期滋賀県スポーツ推進計画」(以下「推進計画」という。)を令和5年3月に策定した。

- ・ 目指す姿 すべての県民が身近にスポーツを楽しみ、感動を共有し、互いに連携・協働することを通じて、地域に誇りや愛着を持ち、健やかで豊かな生活を営むことができる共生社会の実現 —スポーツで滋賀を元気に！感動を未来へ！—
- ・ 基本方針 I 「健やかで豊かな生活」をつくる
 II 「活力のある地域」をつくる
 III 感動を未来へつなぐ
- ・ 政策 「人」「地域」「大規模大会」の視点から7つの施策を掲げる。
 - 1 生涯にわたるスポーツ活動の充実
 - 2 子どもの運動・スポーツ活動の充実
 - 3 障害のある人のスポーツ活動の充実
 - 4 スポーツを通じた連携・協働の推進
 - 5 スポーツを生かした地域の活性化
 - 6 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ等に向けた競技力向上と競技水準の定着
 - 7 地域の特性を生かした大会レガシーの創出と未来への継承
- ・ 計画期間 令和5年度～令和9年度 (5年間)

■指標の達成状況

- ・ 達成率 【(実績-基準) / (目標-基準) × 100】により算定
達成率がマイナスとなったものは「0%」、100を超えたものは「100%」としている。
- ・ 評価 滋賀県基本構想実施計画(第2期)に位置付けがある指標のうち同実施計画の年次目標を達成しているものは「A」、達成していないものは「B」、未集計は「N」として表している。ただし、同実施計画の年次目標に位置付けがない指標については、令和5年度は20%以上、令和6年度は40%以上のものを「A」、令和5年度は20%未満、令和6年度は40%未満のものを「B」として表している。

評価	令和5年度	令和6年度
A：年次目標達成	7項目	6項目
B：年次目標未達成	8項目	9項目
N：未集計	1項目	1項目
合計	16項目	16項目

※再掲の指標は除く

第3期滋賀県スポーツ推進計画における指標（最新数値入力）

評価	項目数	指標の内容	計画策定時 (基準値)	令和6年度 の状況	目標値 (令和9年度)	達成率 (%)
A 年次目標 達成	6	③公認スポーツ指導者数	3,294人 (R4)	4,788人	4,300人以上	100
		⑧県障害者スポーツ大会等の参加者数（延べ人数）	899人 (R3)	2,053人	1,600人以上	100
		⑩アスリートを採用した県内企業数	46社 (R3)	68社	64社以上	100
		⑪県内のプロスポーツチーム等との連携およびスポーツを通じた大学との連携の件数	60件	96件	90件以上	100
		⑬滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲーム観客数	42,174人 (R3)	203,548人	12万人以上	100
		⑭国体・国スポ総合順位	20位 (R4)	8位	開催年 優勝 開催後 15位 以内	63.2
B 年次目標 未達成	9	①成人（男・女）の週1回以上のスポーツ実施率	男性55.2% 女性48.6% (R3)	男性54.6% 女性46.4%	男女とも 70%以上	男性 0 女性 0
		②スポーツボランティア参加者数（延べ人数）	1,867人 (R3)	2,259人	3,800人以上	20.3
		④国体・国スポの監督に占める女性の割合	16% (R4)	14%	25%以上	0
		⑤県内の公共スポーツ施設（社会体育施設・都市公園等における運動施設）の利用者数	7,630,300人 (H30)	7,985,494人	880万人以上	30.4
		⑥「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合	【小5】 男子67.2% 女子50.1% 【中2】 男子58.8% 女子39.5% (R4)	【小5】 男子73.5% 女子50.3% 【中2】 男子59.0% 女子38.0%	【小5】 男子74.0% 女子54.0% 【中2】 男子62.0% 女子45.0%	【小5】 89.8 0 【中2】 0 0
		⑨公認障がい者スポーツ指導者数	345人 (R3)	396人	490人以上	35.2
		⑫スポーツ・レクリエーションを目的とする観光入込客数	876万人 (R3)	954万人	1,200万人以上	24.1
		⑮日本代表強化指定選手数（令和5年度から令和9年度までの間の累計）	オリンピック： 21人 パラリンピック： 17人 (R3年度単年の指定選手数)	オリンピック： 38人 パラリンピック： 54人	オリンピック： 125人以上 パラリンピック： 100人以上	30.4 54.0
		⑰スポーツを観戦した県民の割合（テレビ観戦などは除く）	21.5% (R4)	22.4%	40%以上	4.9
N 未集計	1	⑦障害者の週1回以上のスポーツ実施率	38.4% (R4)	38.4% (R4)	50%以上	—

※滋賀県基本構想実施計画（第2期）に位置付けがある指標のうち同実施計画の年次目標を達成しているものは「A」、達成していないものは「B」、未集計は「N」として表している。

ただし、同実施計画の年次目標に位置付けがない指標については、令和6年度が推進計画の2年目に当たることから、40%以上のものは「A」、40%未満のものは「B」として表している。

※再掲の指標は除いている。

【基本方針Ⅰ】「健やかで豊かな生活」をつくる

（政策１）生涯にわたるスポーツ活動の充実

【主な指標の状況】

指 標	策定時	R5	R6	R9 目標値	達成率	評価
①成人（男・女）の週１回以上のスポーツ実施率	男性 55.2% 女性 48.6% (R3)	男性 54.9% 女性 49.3%	男性 54.6% 女性 46.4%	男女とも 70%以上	男性 0% 女性 0%	B B

【主な施策の実施状況】

年間を通じて「滋賀県民総スポーツの祭典」を開催し、多くの方々のスポーツを楽しむ機会を創出した。（151 種目を開催、参加者 36,571 人）

また、働き盛り世代のスポーツ実施率の向上に向けて、県内企業の従業員を対象に、びわこ成蹊スポーツ大学が考案した健康増進プログラムを２か月間実践し、体力や身体組成、活動量を継続的に測定して運動効果を検証した。（参加者数のべ 504 人）



（県内企業での健康増進プログラム）

【今後の方向性】

滋賀県民総スポーツの祭典がより一層多くの方々に参加していただける大会になるよう、令和 6 年度には、親子で参加できる「交流の部」を新設したところであるが、さらなる充実を図るため、市町や競技団体等で構成される滋賀県民スポーツ大会検討委員会等で議論を進める。

また、今後も女性や働き盛りの世代が気軽に体を動かせる環境づくりに取り組むとともに、県内のスポーツ関係団体等とも連携を図る。

指 標	策定時	R5	R6	R9 目標値	達成率	評価
②スポーツボランティア参加者数（本県ボランティア登録システム利用）	1,867 人 (R3)	1,300 人	2,259 人	3,800 人以上	20.3%	B

【主な施策の実施状況】

県内で開催する大型スポーツイベント等に向け、スポーツボランティアを確保・育成する「ゲームコンダクター SHIGA」に、令和 6 年度末時点で 5,429 人に登録いただいている。

また、「しがスポーツボランティア協議会」においては、ボランティアに関する基礎知識や救命救急講習など多様なジャンルの研修をオンラインも活用しながら実施（研修実施回数 9 回）したほか、各種団体等が主催する大会やイベント等について活動の場を提供した。



（びわ湖マラソンボランティア）

【今後の方向性】

今後予定されている大規模スポーツイベントでボランティアとして活躍していただくために、研修等を通じてスポーツボランティアの養成を進めていくとともに、参加意欲の向上を図るため、多様なスポーツイベントでの活動機会の提供に取り組んでいく。

（施策3）障害のある人のスポーツ活動の充実

【主な指標の状況】

指 標	策定時	R5	R6	R9 目標値	達成率	評価
⑧県障害者スポーツ大会等の参加者数	899 人 (R3)	1,796 人	2,053 人	1,600 人以上	100%	A
⑨公認障がい者スポーツ指導者数	345 人 (R3)	383 人	396 人	490 人以上	35.2%	B

【主な施策の実施状況】

障害者が身近な地域でスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブおよび市町障害者スポーツ協会に委託し、障害者スポーツ教室を実施した。(17 団体、参加者数のべ 4,210 人)

例年開催している滋賀県障害者スポーツ大会は、全国障害者スポーツ大会選考会の部として、個人7競技、団体3競技を開催（参加者数のべ 684 人）するとともに、誰もが気軽にスポーツに親しめるスポーツフェスタの部として5競技を実施した。（参加者数のべ 369 人）

また、障害者スポーツの認知度を向上させ、新たに障害者スポーツに取り組もうとする人や団体に対し、各競技の体験会や指導者講習会を開催し、指導者を育成することで長期的な裾野拡大と理解促進を図った。



（障害者スポーツ教室）

【今後の方向性】

総合型地域スポーツクラブや市町障害者スポーツ協会等を地域の活動拠点のひとつとして位置づけ、これまで障害者スポーツ教室に取り組んできたノウハウを共有し、障害者スポーツに取り組む団体を増やすほか、障害者スポーツに取り組める活動拠点の情報を地域の障害のある人に提供できる体制を整備する。

また、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大会の開催に向けて、誰もが安心して安全にスポーツを楽しめる大会とするために、会場となる県立施設の点字ブロックや案内標示の増設などバリアフリー化の充実を図る。

【基本方針Ⅱ】「活力のある地域」をつくる

（施策4）スポーツを通じた連携・協働の推進

【主な指標の状況】

指 標	策定時	R5	R6	R9 目標値	達成率	評価
⑩アスリートを採用した県内企業数	46 社 (R3)	60 社	68 社	64 社以上	100%	A

【主な施策の実施状況】

アスリートを採用した県内企業は令和5年度よりも8社増加し、68社となった。なお、県競技力向上対策本部が立ち上げた職業紹介所「SHIGAアスリートナビ」などを活用した結果、令和7年4月の入社選手計23人の就職につなげることができた。

県内プロスポーツチーム等との連携およびスポーツを通じた大学との連携は、スポーツ課および国スポ障スポ大会局を中心しつつ、人権や健康医療福祉分野等においても連携を進めることができています。

【今後の方向性】

成年選手の競技力の向上に向けて、引き続き、大学・企業等やスポーツ団体との連携・協働に取り組み、サポート体制を充実していく。特に、大学に対しては、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」に向けた選手の競技力向上やスタッフ・ボランティア協力に関する依頼を積極的に行い、連携を強化する。

また、プロスポーツチーム等とも密なコミュニケーションを図りつつ、新たな取組を模索していき、県民の運動・スポーツへの関心を高め、からだと心の健康づくりや運動・スポーツ実施率の向上につながる事業を展開していく。



(採用企業からの応援@ラグビー)

(施策5) スポーツを生かした地域の活性化

【主な指標の状況】

指 標	策定時	R5	R6	R9 目標値	達成率	評価
⑬滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲーム観客数	42,174 人 (R3)	120,900 人	203,548 人	12 万人 以上	100%	A

【主な施策の実施状況】

滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲーム観客数は、滋賀レイクスターズ、東レアローズ滋賀およびレイラック滋賀FCがそれぞれ観客動員数を伸ばしたことにより20万人以上（前年度比約8万人増）となり、目標に到達した。

県内のプロスポーツチーム等（滋賀レイクスターズ、東レアローズ滋賀、レイラック滋賀FC）の試合会場において、わたSHIGA輝く国スポ・障スポの広告やのぼりの掲出を行い、両大会の周知と機運醸成を図った。

また、滋賀レイクスターズ、東レアローズ滋賀のホームゲームを本県の冠試合として開催し、国スポ・障スポの競技体験ブースを設けるなどしてPRを展開した。



(東レアローズホームゲーム)

【今後の方向性】

プロスポーツの盛り上げに一層取り組みながら、県内のプロスポーツチーム等の発信力を活用することで、県内・県外から観戦客を呼び込み、スポーツ振興を図るとともに地域活性化の一助となるように努めていく。

【基本方針Ⅲ】感動を未来へつなぐ

(施策6) わたSHIGA輝く国スポ・障スポ等に向けた競技力向上と競技水準の定着

【主な指標の状況】

指 標	策定時	R5	R6	R9 目標	達成率	評価
⑭国体・国スポ総合順位	20 位 (R4)	17 位	8 位	本県開催年度 (R7)： 優勝 本県開催後： 15 位以内	63.2%	B
⑮日本代表強化指定選手数 (令和5年度(2023 年度)以降の累計)	オリンピック： 21 人	18 人	38 人	125 人以上	30.4%	B
	パラリンピック： 17 人 (R3 年度単年の 指定選手数)	28 人	54 人	100 人以上	54.0%	A

【主な施策の実施状況】

第 78 回国民スポーツ大会の総合順位は前年を上回る成績を収めることができたものの、3 位以内という目標には届かなかった。

スポーツ特別指導員やふるさと選手など新たに本県選手として出場した成年選手の活躍や 2025 年のターゲットエイジ世代のみならず、延期の影響を受けた 2024 ターゲットエイジの少年選手の活躍により、全種別において前回大会を大きく上回る競技得点を獲得できたことなど、強化事業の成果は着実に現れている。

【今後の方向性】

わたSHIGA輝く国スポに向けた「成年選手確保計画」により獲得した成年選手や県代表基軸チーム、強化指定選手として認定された少年選手が、質・量の伴った強化事業を円滑に行うことができるよう、大学、民間企業、学校、県スポーツ協会等、選手の所属先となる各主体との連携をさらに深め、目標である総合優勝・天皇杯獲得につなげる。加えて、会場市町等が実施するPRイベントへのトップアスリートの参加支援や各種メディア・SNSでの選手の活躍情報の事前発信を通じ、本県代表選手が地元住民・児童・生徒の応援のもと競技に臨める機運の醸成に努める。



(第 78 回国民スポーツ大会開会式@佐賀)